学校便り

あけぼの

発　行
校長
真喜志　昇
平成29年度
第20号
9月29日

運動会は保護者・地域のご協力のお陰でなんとかできました。ありがとうございます。

平成二十九年九月二十四日（日）の運動会は、心地よい風と真っ青な空の下で第二十八回大運動会が『全力！協力！感動！輝け　曙魂！』のテーマで行われました。子ども達は熱い思いが詰まった演技を、精ー杯、最後まで頑張ってくれました。

開会式は、児童会を先頭に六年生からこども園児まで胸を張り自信満々の表情で堂々と入場してきました。

こども園児のかわいいソーラン節の演技と満面の笑顔で走った競争、ー年生は、初めての折りかえしリレーと玉入れとだるまさんが転んだで退場、二年生は、力を合わせた折りかえしリレーと可愛く笑顔でー生懸命踊ったにんじゃり九九修業、三年生は、仲よく声をかけあったリレーと大いに盛り上がったがむしゃらチャンプルーレース、四年生は、いろいろなアィディアある組み体操にチャレンジ、練習でできなかったことを本番は見事大成功！子どもたちの団結心に感動しました。

紅白対抗戦も今年で五回目、白組が紅組の連覇を阻むため燃え上がり、高学年を中心に兄弟学級の絆をより強くし、応援合戦・大玉ころがし、兄弟学級紅白対抗リレー等、ドラマチックで感動いっぱいの場面で満ち溢れ、大盛況でした。結果は教職三十五年の中でも初めての世紀の引き分けとなり、曙小らしく両方大喜びで終わることができました。

目玉は五・六年生合同の曙っ子エイサーの演技、朝・昼と自主的に練習に取り組み、自分自身の技に仕上げるため、全員の心がひとつに太鼓の音が見事にコラボして力強い音を響かせ会場いっぱいに感動を与えてくれました。また、チョンダラーの掛け合いは、「しまくとぅば」で笑いありで拍手喝采の演技でした。沖縄の伝統文化であるエイサーを見事にやり遂げ本物に近づいた子どもたちは、成就感と自信に満ちた最高の表情でした。

感動いっぱいの心に残る運動会を通して子どもたちはさらに飛躍・成長し、自信を持って、曙っ子の絆を土台に次の目標に向かってスタートします。

この感動をご家庭でも今一度話題にし、賞賛の声をかけて激励して下さい。また、ＰＴＡ綱引きで花を添えた中学生、後片付け等にご協力頂きましたＰＴＡの皆様に心から感謝申し上げます。

保護者・地域に支えられている曙小学校だなと改めて思いました。

また、職員もさっと仕事をして、子ども達のためにいろいろアイディアを出し頑張っていて、とても頼もしく感心しました。

曙小学校は、沖縄県の中でも、児童・保護者・地域・学校職員が一体となって頑張っている素晴らしい学校だと思います。

これからも、職員一同、一人ひとりの子ども達が輝くように頑張りますので、ご支援・お力添えをよろしくお願いします。

生活目標

- ・進んで読書をしよう
- ・あいさつをしましょう